

第3回津別町議会定例会『行政報告』

はじめに、天王洲キャナルフェス2026^{はるなつ}春夏への出展についてありますが、本イベントは、一般社団法人天王洲・キャナルサイド活性化協会が主催し、5月22日から5月24日にかけて東京都品川区の天王洲アイルー帯において開催されたもので、首都圏における本町の認知度向上と特産品及びふるさと納税のPRを目的として出展いたしました。

本町のブースでは、町内10事業者のご協力をいただき、ふるさと納税返礼品登録商品や「あとから納税」システムの対象商品を中心に、首都圏の消費者ニーズを意識した合計35品目の特産品を展示販売したほか、フジタコーポレーションによる「クマヤキ」の販売等を行いました。

今後は、本イベントで得られた反応も踏まえながら、さらなる認知度の向上、ふるさと納税の推進及び移住・定住の促進につなげて参る所存であります。

次に、大通花壇へ花苗の植栽についてありますが、6月5日、花のまち推進協議会が主催し、花のまちの推進と花のある美しい景観づくりのため、国道240号沿い大通花壇へ花苗2,100本を

植栽いたしました。

植栽作業は、津別ライオンズクラブ等の町民ボランティアの皆様と網走開発建設部北見道路事務所様の「ボランティア・サポート・プログラム」により道路維持企業の社員26名のご支援をいただき、関係者等含め68名の参加により完了することができました。今後とも町民の皆様へ参加を呼びかけ、花のある美しい景観づくりを継続して参ります。

次に、道営水利施設等保全高度化事業（津別2地区）における活汲配水池の営農用水供用開始についてであります。令和4年度から本事業により東岡・活汲地区における営農用水の整備を進めているところですが、6月1日に活汲配水池ポンプ室が完成したことから、活汲第2地区の受益者が供用される水を各戸に引き込む工事を行うことにより、新たな施設から水を利用することが可能となりました。

今後、令和10年度を目途に東岡地区への営農用水の供給整備を進め、良質な営農用水を安定的に確保し、受益者の経営、生活環境の改善・安定化を図って参ります。

次に、建設工事等の発注状況についてであります。6月9日現在、

- 一般土木工事関係については、町道 2 号線歩道新設工事

他 1 3 件 2 5 7, 0 9 2 千円 (6 4. 4 %)

- 一般建築工事関係については、木質バイオマスセンター貯蔵

棟建設工事 他 6 件 9 8 9, 7 3 6 千円 (8 8. 3 %)

- 簡易水道・下水道工事関係については、水道老朽管更新工事

他3件 184,657千円(94.2%)

- 設計等委託業務関係については、達美橋ほか9橋橋梁点検

委託業務 他 7 件 33,468 千円 (21.3%)

であり、令和８年度予算分について総額１，４６４，９５３千円で
 ７８．２％の発注率となっており、今後も適時発注に努めて参ります。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。